



# 荒れ狂ふ台風

## 再度に亘る救助法發動

台風の接近を伝えるラジオの無気味な圧力を覚へつゝ九月十二日を迎へた。由來長浜町の九月は大厄月である。二十三年の大火を首肯キジヤの惨害も明十三日のことであつた。奇しくも亦同じ日に第十二号台風の襲撃を受けるのである。

報は益々深刻さを加へ未曾有の猛威を豫言する。々々は怖れおのいて防衛を怠るべきであつた。

### 消防団の活動

十二日早も幹部は総動員、午後七時迄作業を進行。御番所附近の土のう構築を完成、引續き午前二時迄警戒に當つた。

翌十三日の朝既に浸水家屋多数を出す。朝來団員は自家の防衛も打捨てて作業に挺身、救難所員の協力も得て、港町船揚場、四十七区高田納屋附近、水族館近傍及び海岸通り等一帯に土のう構築を續けた。

此の間、青島では地下浜の堤防が決壊し附近の民家が危険に暴されたのを青島消防団の手によつて幸にも人命に及ぶことなく救はれたのであるが、その状況を速報するため狂々怒とを侵しての超人的注進が快漢増田定吉君に依つて達成されるなど涙ぐましい一幕もあつた。

### 救難の実態

かくて台風來れば來れる人事をつくしたのではあつたが、自然の威力の前には何物も抗することは出来なかつた。

避難所に充てた円立寺、住吉神社、小学校や高校講堂には避難者がひしひしと詰めかけ生きた心地もない。午後五時頃からザワめいた潮騒は七時前より堤防を打ち越し、西海岸一帯が危険に頻し、一人残らず避難した。

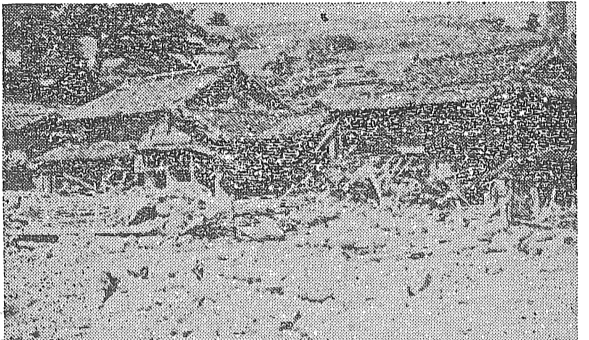
### 町内浸水状況(台風第一二五号)

一二号で欠壊した青島堤防の應急工事再破壊さる(台風第一五五号)

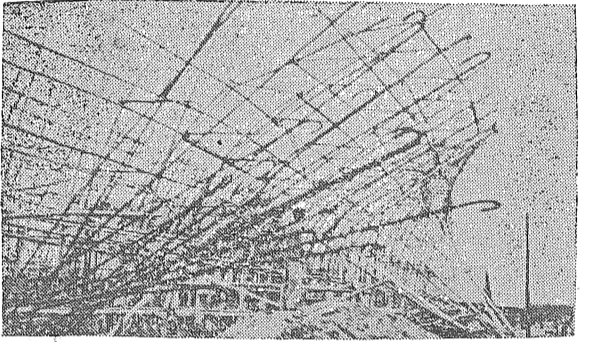
建築中の長浜中学校足場の石灰を配給し、各区で床下



町内浸水状況(台風第一二五号)



一二号で欠壊した青島堤防の應急工事再破壊さる(台風第一五五号)



建築中の長浜中学校足場の石灰を配給し、各区で床下

本町も浸水した。江湖は既に全戸浸水、仁久の友石長屋は退避完了、次々に送られる災害情報を整理する本部(役場)では、記録と果当局への報告でかかへの湧く様大騒ぎである。

折から頼みの綱である西海岸護岸のバラベツト約百メートルが激浪の破襲、旭産業を中心とする一帯が水浸しとなり海水は全町内に溢れ、附近住民は身を以てつのがれ出ると云ふ惨状、これにみこたわれぬ町本部としては頭から水びたしになつて絶叫する未永町長の指揮下、右に左に東に西に、第一目標、人命にあやまりなからしむべし。

第二目標、傷害被害を極力防止すべし。

第三目標、速かに避難救助を行ひ民心を安定すべし。

と云ふ緊急指示事項に則り巨岩の打上げをもつとせしず全力血眼になつて奮闘が續けられたのであつた。

かくて恐ろしい十時間を得てホツト一息ついたが、台風變遷を去るの公報が午後十一時、ところが逆風に風勢頓に加はつて板戸を外しガラスを破る。

ほどどす術もなく彼女の猛威に託すること数刻、漸く午前三時に至り、全員休養の許しが下つたのであつた。

翌十四日は朝の高潮を警戒、警備いかめしく出動し、越へて十五日には浸水した各家庭に一戸半俵つゝの石灰を配給し、各区で床下

た消防団員には気の毒なほどの静まりよう。

果当局の心からなる慰勞などあり全員心おきなく休養したのであつた。

◎善後処置

台風は去つた。だがそのおき去つた被害は大きい。これを如何にして救済するか。問題ははかつかつて此処に居る。

知事も来た、土木部長も出陣への途次長浜に立寄つた。

水産庁や建設省からも、夫々関係係官がやつて来た。我々を見て貰ふだけでは満足しない。見た結果が如何に施されるかをかまつたいのである。

◎当面の旋策

然らば長浜町としては何をやつたか。と云ふこと勿論大したことは出来なかつた。

先づ考へたのが避難先である。何時もお世話になる円立寺や住吉神社、小学校に高等学校、これが第一施設として伝えられた全ぼうりに避難した。

翌朝の食事は町内パン食業者の献身的協力により、罹災者一人二ヶ宛の食パンを配給した。カマドや燃料の關係で炊事の出来ない人々には晝及び夕食も配給した。

越へて十五日には浸水した各家庭に一戸半俵つゝの石灰を配給し、各区で床下

撤布をしてもらつた。

町では防疫班三ヶ班を編成して全町を消毒し廻つた。更に汚物処理班を構成して路上の清掃を徹底した。

斯くて町内諸施設に對し一応の手は打つたのだが、これ以上の被害を受けた長浜町が何故にか災害救助法の適用地区から除外されたか。問題をはかつかつて此処に居る。

知事も来た、土木部長も出陣への途次長浜に立寄つた。

水産庁や建設省からも、夫々関係係官がやつて来た。我々を見て貰ふだけでは満足しない。見た結果が如何に施されるかをかまつたいのである。

◎如何に對処するか

年々歳々この災やくに遭ふ如何にしてこれに對処するか。これは仲々むづかしい。だが最善をつくさねばならぬ。

町議会は之に對処する一方策として庶民住宅の床あが一尺を決議した。床下浸水までは已むを得ない。何となく床下浸水だけは防ぎたい。これが全町挙げの願ひである。

幸にして町営住宅街はこれ救はれるが、他の低湿地の人々を如何にして救済するかが今後の問題である。特に今度の災やきの被害に於て、特筆すべきものに、目下建設中の長浜中学校建築現場の被害がある。

コンクリート、タワは四インチのワイヤーの補強線が断ち切られて倒壊し、足場は傾倒、假設物件は損傷を蒙つた。約百坪の被害を蒙つたのである。

瞬間風速三十五メートル以上と云ふこの自然の大威力の前には何としても抗し難い。相共に相扶けてこの事業遂行して欲しい。

### 長濱町定例議會

十月三日長濱町定例議會は午前九時から開催、提案議題全部を無修正可決、協議事項を審理、正午閉会した。

主なる案件は次の通りである。

◎水道拡張事業費に充てる金七百万円、及び消防ポンプ購入費に充てる金五十万円を資金運用部上り借入ことに決定。

◎たいふう禍に依る諸経費の算定を行つたが、庶民住宅を一尺床下とするの費用も決定された。

◎青島に火災通信施設として中短波無線を設置することとし、これの豫算も計上議決された。

### 共同募金に御協力下さい

去る九月十七日本年度共同募金の打合せが、喜多地方事務所で行はれたのであります。席上欠員になつてゐる郡連合会委員長の補欠選任が協議され、長浜町委員である今村林吾氏が同氏は、その任ではないが、やれと云はれどこまでもやり通すと云ふ固い信念で引受けられたと云ふことと存じますが、どうぞよろしく御願ひ致します。

### 日赤家庭看護法講習會

#### 赤根川女史青島で

生身の人間であるお互は何時どんな病氣に取りつかれるか判らない。

又家族の中にどんな病氣を悩まされる者が出来るかも知れないのである。

勿論医者のお世話になるのであるが、それまでの応急措置、乃至は病氣そのものに對する一応の智識を辨へておくことが、どれだけ心丈夫であり、又助かるか知れないのである。

この意味に於て日赤愛護果支部では

健康で明るい家庭を、そして明るい社会をつくる

として明るい社会をつくる

恒例に依るこのお祭りを今年も九月二十四日に行つた。

忘れるともなく忘れ去られた、或は又肉身の絶え果てた人々の魂を、年に一度の手で慰めてあげられるお祭りで、終戦直後のお祭りを始めた頃、二年、三年は、どうも祖国の勝利を信じつた。

### 青年の夕

九月の青年の夕は十日二日小山龍之輔先生に依る、「人生と環境」と題する講演會が催された。

長濱町には馴染の深い、小山先生久々の講演で、シシとして説かれた内容に熱心に聞きつけた。

自然現象が人生に及ぼす影響を支配し得る人間の自主性を強調、更に少数の権威よりも大衆の力を力説される段階に入ると、一段と緊張した気分が生れたので、講演後の質疑応答も、慈父の子に對する如き和やかさに満ち、青年諸君も心温まる念ひであつた。

◎長濱町警部派出所

職名 氏名 担当

### 警察人事異動 一括報導

国家警察になつて以來、長濱町の警察の方々が頻々と変わつて來て居るが、いほどの速さです。

併し皆様にどんな人が、どんな仕事をしておられるかを知りたいと思つて居るが、現職の方々は次にご紹介致します。

警察の民主化を目指して挺身される皆様方に対し全町民挙つて協力致します。

◎長濱町警部派出所

職名 氏名 担当

### 出生と死亡

(九月中旬出生)

出生

山本秀儀 長男 了一

村上定夫 長男 多美

飯野和夫 長男 耕三

井上長喜 長女 洋子

石丸英雄 長女 まゆみ

高坂豊吉郎 二女 美恵子

合田昭博 四男 輝彦

井上禎夫 長男 博

死亡

西岡金十郎

別所 正保

山本 了一

三河嘉三郎

宮島 義一

### 眞鍋君 表彰さる

徳島市民会館で行はれた第五回全国統計大会席上長濱町役場統計係眞鍋君は、ある統計事務功勞者として全国統計連合会長の表彰を受けた。

この榮譽を担ふものは、全国都道府県から各一名だけであつて、独り同君の喜びのみでなく、町としても誇りに足るものである。

### 九月の會と催し

九二 合協、総務委員会

九四 長浜町合併促進研究會

九六 合協、建設委員会

九七 合協、書記事務打合せ

九八 町民生委員協議會

九九 三長浜町合併委員連絡會

九〇 青年の夕

九一 合協、総務委員会

九二 厚生

九三 産業

九四 文政

九五 各町村助役及書記事務打合せ協議會

九六 町議會議事協議會

### 會と催し

九二 合協、総務委員会

九四 長浜町合併促進研究會

九六 合協、建設委員会

九七 合協、書記事務打合せ

九八 町民生委員協議會

九九 三長浜町合併委員連絡會

九〇 青年の夕

九一 合協、総務委員会

九二 厚生

九三 産業

九四 文政

九五 各町村助役及書記事務打合せ協議會

九六 町議會議事協議會